

♣グリーン電力出資金出資者の皆様
♣グリーンコープでんき利用者

グリーンコープでんき通信 VOL.55



2022年10月31日発行
一般社団法人グリーンコープでんき

「水俣・熊本みらい基金」第4期助成団体が決まりました！ ～水俣関係11団体、熊本関係5団体へ助成します～

1. 公害の原点である水俣病事件を未来に語り継いでいくことと2016年4月に起こった熊本地震からの復興と地域再生を目的に、2019年4月に“自然エネルギーの光をあつめて”をキャッチフレーズに「一般社団法人水俣・熊本みらい基金」(つんなう基金)が設立され、助成事業がスタートしました。設立時の団体は(一社)全国ご当地エネルギーと(一社)グリーンコープでんきでした。2020年になると、生活クラブがこの取り組みに賛同・社員となりました。

2. 「つんなう基金」の原資は、全国ご当地エネルギー協会が運営する「水俣薄原太陽光発電所」と熊本地震からの復興のために(一社)グリーンコープでんきがつくった「グリーン未来ソーラー」(GCくまもとエリア内の10カ所の施設の屋根にパネルを設置)の売電収益の一部(第1期は300万円)が充てられています。合わせて、生活クラブからの拠出金が入ったことで原資が豊かになりました。

3. 第1期は18団体へ、第2期は14団体(うち2団体は熊本豪雨災害支援)へ助成をしました。助成団体からはそれぞれすばらしい活動報告が提出され、当基金のホームページにアップされています。なお、この間コロナの影響で活動が縮小する傾向にあったものの、活動団体の熱い思いは変わらず継続されており、「基金」の必要性がますます大きくなってきていると言えます。



☀️水俣薄原太陽光発電所(低圧25区画)
＜定格出力1814.400kW＞



☀️グリーン未来ソーラー(低圧10カ所) 定格出力 374kW



第九期 一般社団法人グリーンコープでんき定時社員総会 報告

〈日時：2021年6月14日(火)10時30分／場所：博多大博通ビルディング〉

2021年度活動報告

(1) 自然エネルギーによる市民発電所づくりで、脱原発社会の実現と持続可能な社会の実現に向かう取り組みを進めています。

- 一) ながわエネルギー合同会社との共同事業として進めていた「ながわ小水力発電所」は、発電機周りの事故、水車の再据付という困難を乗り越えて、完工までにおよそ1年6ヶ月の遅延となりましたが、2022年1月1日から営業運転を開始することができています。この発電所で発電された電気は、グリーンコープでんきの電源に組み込まれ、組合員に供給されています。
- 二) グリーンパワー小国合同会社の運営する「杖立温泉バイナリー発電所」は2018年8月より営業運転を開始し、発電された電気はグリーンコープでんきの電源として組み込まれていますが、運転開始当初から機械トラブルや設備の不具合などで、継続した運転と十分な発電量を得ることができない状況が続いていました。メーカーへ根気強くプラントの改修等を要請し続けた結果、2021年11月にほぼ問題が解決され、現在では安定した運転が続いています。
- 三) グリーンエネルギー霧島合同会社が建設を進めていた霧島太陽光発電所が2021年4月2日に竣工しました。昨今、全国で投機、利益追求を目的とした太陽光発電所が全国でたくさんつられ、とりわけ、メガソーラーの建設による、乱開発や環境破壊などが大きな問題となりました。霧島太陽光発電所では、周囲の自然環境についての調査・対策に十分な時間をかけ、地域住民とのコンセンサスを重視しながら建設を進めました。発電した電気は全量を国の「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」を利用して電力会社に買い取ってもらっています。
- 四) 組合員宅の家庭用太陽光発電の余剰電力(卒FIT)についても、自宅の小さな発電所がつくった再エネ電力として、積極的に買取を進めています。この電気も脱原発・脱炭素の電気としてグリーンコープでんきの電源に組み込まれています。

2021年事業概況

(1) 損益

- 一) 収入は、新電力事業による電力小売収入、発電事業による売電収入(神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、広島物流センター太陽光発電所、若宮物流センター太陽光発電所、山口西部支部太陽光発電所、グリーン未来ソーラー10箇所の太陽光発電所)、遊学舎の事業収入(利用・企画・販売)及び太陽光発電の売電収入、会費収入

を計上しています。

- 二) 電力小売収入は、契約件数の伸びにより、予算に対して104.7%でした。
- 三) 売電収入は、出力制御や天候の影響などにより、予算に対して98.3%でした。
- 四) 遊学舎の事業収入は、予算に対して81.7%でした。個別には、売電収入が予算比114.8%、利用収入が予算比92.5%、企画収入が予算比87.9%、販売収入が予算比79.8%でした。
- 五) 経費では、福利厚生費、車両費、リース料、水道光熱費、保険料、企画費、租税公課、通信費、旅費交通費などが予算を上回り、定時社員給与、法定福利費、広報費、消耗品費、車両燃料費、修繕費、衛生費、調査研究費、会議費、販売費、諸会費、渉外費、雑費などが予算を下回っています。
- 六) 以上による、2021年度の経常利益は、43,889,477円となりました。
- 七) 税引後の純利益は、27,030,627円となっています

2022年度事業計画

(1) 今、電力を取り巻く状況は大変な時代となっています。

- 一) 昨今の電力を取り巻く状況として、昨年後半からの、世界的なエネルギー不足による燃料価格の高騰に加え、ロシアによるウクライナ侵攻によって、エネルギー不足は一段と深刻な事態となり、更に追い打ちをかける形で3月の福島県沖を震源とする地震による火力発電所の倒壊で、重大な電力不足が引き起こされ日本電力卸取引所での電力市場価格の上昇は青天井という状況です。
- 二) このような状況下で自らの電源を持たずに、電力の調達を市場に頼る新電力各社は苦境に立たされ、倒産や電力小売事業からの撤退、新規受付の停止が相次ぎ、異常ともいえる事態となっています。また、新電力のみならず、旧一般電気事業者も他新電力からの切り替え受付停止や、新規受付停止を発表しています。
- 三) 現在の事態が引き起こされている直接の原因は、先に挙げた通りですが、根本的な問題として、再生可能エネルギーへのシフトチェンジがなかなか進まず、電気をつくりだすためには、輸入化石燃料に頼らざるを得ない(2019年度の日本の火力発電割合は75%)ことが根本的な要因と考えます。
- 四) 一方で、2020年10月、政府は国内の温暖化ガスの排出を2050年までに「実質ゼロ」にする方針を表明しました。その目標達成のために

東京電力福島第一原発事故によって引き起こされた様々な問題(廃炉、汚染水、汚染土、避難者の帰還…)の解決の糸口さえ見つかっていない状況下で、原発の再稼働やリプレースが正当化される議論がなされています。しかし、原発中心の温暖化対策は再エネ普及を阻害し、効果がないと専門家は指摘します。

五)ロシアによるウクライナ侵攻で、チヨルノーブリ原発が占拠され、ウクライナ最大の原発であるザポリージャ原発が攻撃され、火災が発生したニュースに、世界中に激震が走りました。原発を保有していることは、テロや軍事攻撃の対象となり、改めて原発は様々な危険を孕むものであることに気づかされました。

(2)脱原発社会の実現とグリーンコープの2027カーボンニュートラル実現の取り組みに呼応し、市民発電所づくりに加えて、自社電源を増やす取り組みを進めていきます

一)世界的なエネルギー不足が問題になっている今、発電するためのエネルギーのほとんどを海外に依存している日本が受ける影響は甚大で、それは同時に、石炭・石油・天然ガスなどの化石燃料に頼らない、自然の力・再生可能エネルギーを利用した発電所をつくっていくことが喫緊の課題であることを再認識させられる事態です。

二)一方で、自分たちでつくった電気を売電せずに自分達で使う、言わば電気の自給自足にも取り組んでいきます。具体的には、グリーンコープでんきが発電事業者として、グリーンコープの事業所(屋根など)に、太陽光発電設備を設置し、つくられた電気を自家消費していくことを進めていきます。

(3)グリーンコープでんきの利用者を増やしていく取り組み

一)グリーンコープでんきの利用者は少しずつですが、着実に契約件数を伸ばしています。しかし、昨秋からの電力市場の異常とも言える高値を受け、小売事業者としてのグリーンコープでんきも大きな影響を受けています。その影響は、電気契約の新規募集制限と、価格改定(値上げ)という形で顕われています。

二)例年、グリーンコープでんきの利用推進を目的に年4回のチラシを配布していますが、2022年度は新規電気契約の制限から、チラシの配布を延期しています。このチラシ配布に合わせてグリーンコープでんきの利用拡大キャンペーンを計画し推進しますが、それが出来ない状況です。

三)2022年度は、今後も原発フリーで化石燃料で発電した電気を使っていないグリーンコープでんきを継続して届けることができるよう、また、このような電気を個人の選択肢として提

供できるように、アンテナを張り情報をキャッチし、随時、卸元卸元との相談を行いながら、小売事業者としての責任を果たせるよう取り組んでいきます。

(4)グリーン電力出資金の取り組み

一)自然エネルギーによる発電所をつくるための原資として、「グリーン電力出資金」を組合員に拠出いただいています。現在稼働中の発電所は、この出資金が生かされて実現できました。このような自然エネルギーによる発電所をたくさんつくっていくことが、脱原発、脱炭素の持続可能な社会を実現することに繋がっていきます。2022年3月29日現在の出資目標額は10億9千887万円、出資総額は、9億8千953万円です。

二)2022年1月末の支出総額は8億4,881万円で、残高は1億4,072万円です。グリーン電力出資金を原資に建設・出資された発電所による電気出力は、自社所有分合計で、定格出力4,389kW・年間発電量4,614,167kWh、共同事業・出資事業分合計で定格出力5,207kW・年間発電量10,055,584kWhです。

三)グリーン電力出資金は、2013年10月から受付を開始しました。お預かりした出資金については10年間据え置いていただくことにしていましたので、来年の2023年10月から10年満期の出資者への返金が始まります。満期を迎える方への返金と、新たな出資者を増やしていくことについて検討を進めることとなります。

2022年度収支予算

(1)損益

一)売上高は電力小売事業、発電事業、グリーン未来ソーラー、遊学舎の事業収入を計上しました。

二)電力小売事業は、新規拡大が厳しい状況にあるため、現在の需要確保維持で予算化しました。

三)発電事業は、グリーンコープでんき所有の各発電所の売電収入を計上しました。

四)その他の収入として、社員からの会費収入、社債引き受けによる受取利息、遊学舎の事業(利用、企画、販売)収入を計上しました。

五)人件費は、遊学舎事務局の定時職員給与を計上しました。新電力事業の派遣社員の費用は、物件費(委託費)で計上しました。

六)物件費は、本部(事務所)経費の他、新電力業務に伴う費用、発電所の維持・管理にかかる費用、本部の業務にかかる費用、遊学舎の業務に係る費用、調査・検討のための費用、託送料金訴訟にかかる費用などを計上。寄付金は、「みらい基金」で、80万円の拠出を予算化しました。

七)この他、資源エネルギー庁が指導の太陽光発電所廃棄費用積立として発電所建設費用の5%を20年分割し、固定資産除去損に計上しました。

八)以上の結果、2022年度予算の税引前当期剰余金は、47,348,448円となりました。(了)

■グリーンコープでんき

- ・9月にグリーンコープでんきを供給した契約件数は、GC事業所、組合員契約件数、GC商品のお取引先も含め下表のとおりです。

| 生協名 | GC事業所 契約件数 | 組合員 契約件数 | 契約容量 (kW) |
|--------------------|---------------|-------------|--------------|
| しがまる生協 | 1 | 0 | 4 |
| GC生協おおさか | 8 | 61 | 286 |
| GC生協ひょうご | 8 | 37 | 185 |
| GC生協とっとり | 3 | 48 | 228 |
| GC生協(島根) | 1 | 102 | 429 |
| GC生協おかやま | 6 | 179 | 754 |
| GC生協ひろしま | 9 | 208 | 934 |
| GCやまぐち生協 | 5 | 475 | 2,025 |
| GC生協ふくおか | 102 | 1,996 | 8,864 |
| GC生協さが | 17 | 125 | 728 |
| GC生協(長崎) | 11 | 229 | 1,161 |
| GC生協くまもと | 39 | 558 | 2,956 |
| GC生協おおい | 15 | 311 | 1,363 |
| GC生協みやざき | 2 | 162 | 598 |
| GCかごしま生協 | 11 | 210 | 945 |
| 単協計 | 237 | 4,701 | 21,456 |
| (一社)グリーンコープでんき(低圧) | 67 | | 536 |
| (一社)グリーンコープでんき(高圧) | 67 | | 5,155 |
| 総合計 | 371 | 4,701 | 27,147 |

【関西電力エリア】

- ・ながわ小水力発電所……………94.3%
- ・三峰川第一・第二発電所……………5.1%
- ・家庭用太陽光発電……………0.6%

【中国電力エリア】

- ・三峰川第一・第二発電所……………95.4%
- ・家庭用太陽光発電……………4.6%

【九州電力エリア】

- ・三峰川第一・第二発電所……………97.1%
- ・家庭用太陽光発電……………1.9%
- ・杖立温泉熱バイナリー……………0.6%
- ・馬洗瀬小水力発電所……………0.4%

※グリーンコープでんきは、電源となっている発電所をすべて特定しています。

※グリーンコープでんきの電源には、原発由来の電気は一切含まれていません。

いよいよ
結審?!

『グリーンコープでんき託送料金訴訟』 第9回口頭弁論・報告集会のご案内

【日時】 2022年11月14日(月)
午後1時30分～

【場所】 福岡地方裁判所 101号法廷
※現在、コロナ禍での傍聴席数の制限が解除されています。
※傍聴される方は、午後1時ころまでに福岡地方裁判所の1階フロアへお越しください
※多くの皆様の傍聴をお待ちしています。

【報告集会】 今回も法廷終了後、弁護士会館(301会議室)で報告集会を開催予定です。

■市民発電所

(一社)グリーンコープでんき各発電所の2022年8月・9月の実績です。

《発電・売電実績》

- ・発電量は前年実績比110.4%でした。
- ・売電額は前年実績比110.3%でした。

《出力制御について》

出力制御指示による売電損失額(PR値から想定)

- ・神在太陽光発電所… 0円
- ・深年太陽光発電所… 0円
- ・グリーン未来ソーラー… 4,624円
- ・若宮・広島・山口西部… 0円

<2022年8月・9月発電量実績>

| 発電所 | 出力(kW) | 発電量(kWh) | 売電額(円) | 出力制御損失(円) |
|------------------|--------|----------|------------|-----------|
| 神在太陽光発電所 | 1,057 | 234,060 | 9,362,400 | 0 |
| 平池水上太陽光発電所 | 1,260 | 271,495 | 9,773,829 | — |
| 深年太陽光発電所 | 1,550 | 308,338 | 11,100,185 | 0 |
| 若宮物流センター | 47 | 9,877 | 355,568 | 0 |
| 広島物流センター | 47 | 10,227 | 336,047 | 0 |
| やまぐち西部地域本部 | 54 | 10,024 | 320,780 | 0 |
| グリーン未来ソーラー(10箇所) | 244 | 84,166 | 1,767,481 | 4,624 |
| 合計 | 4,259 | 928,188 | 33,016,290 | 4,624 |

■グリーン電力出資金

・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、9億8千926万円になっています。

・出資目標額(積立目標額)は、22年9月27日現在で10億8千9百9万円になっています。

| 生協名 | 申込人数 | 申込件数 | 出資目標額 |
|----------|--------|--------|---------------|
| しがまる生協 | | | |
| GC生協おおさか | 191 | 216 | 16,500,000 |
| GC生協ひょうご | 78 | 89 | 6,076,000 |
| GC生協とっとり | 123 | 134 | 10,290,000 |
| GC生協(島根) | 230 | 241 | 11,380,000 |
| GC生協おかやま | 137 | 152 | 12,690,000 |
| GC生協ひろしま | 661 | 807 | 85,067,000 |
| GCやまぐち生協 | 533 | 616 | 40,260,000 |
| GC生協ふくおか | 5,104 | 5,951 | 510,480,000 |
| GC生協さが | 301 | 344 | 42,615,000 |
| GC生協(長崎) | 549 | 609 | 54,569,000 |
| GC生協くまもと | 1,421 | 1,638 | 125,742,000 |
| GC生協おおい | 752 | 842 | 68,398,000 |
| GC生協みやざき | 268 | 305 | 25,695,000 |
| GCかごしま生協 | 694 | 803 | 79,331,000 |
| 合計 | 11,042 | 12,747 | 1,089,093,000 |

・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費に充てられています。

・2022年3月次支出総額は7億6,781万円で、残高は2億2,063万円となっています。
市民発電所の建設は継続して調査や検討をすすめています。

| | |
|--|-------------|
| これまで出資いただいた金額 | 989,269,500 |
| これまで支出した事業と金額 | 767,810,221 |
| 神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラー発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所、霧島太陽光発電所、熊本菊池太陽光発電所 | |
| グリーン電力出資金の残高 | 221,459,279 |